

平成二十九年 度

大妻中野中学校コア選抜入学試験・グローバル入学試験

問題用紙

(第一回・二月一日午前)

国語

座 席 番 号
番

受 験 番 号
番
氏 名

受験上の注意

- (一) この問題用紙は表紙を含めて9ページあります。
- (二) 試験開始後ただちにページ数を確認してください。
- (三) 問題用紙、解答用紙それぞれに座席番号と受験番号と氏名を忘れずに記入してください。座席番号と受験番号は算用数字で記入してください。
- (四) 試験時間は五十分です。
- (五) 解答は全て解答用紙に記入してください。
- (六) この試験は百点満点です。

□ 次の文章をよく読んで、あとの問いに答えなさい。

小鳥が、逃げた。

私がいまよりもっと、子供だった頃のこと。

なぜ逃げてしまったのか、どうしても思い出せない。深緑色のカナリア、鳴かないカナリアだった。

小鳥の名前は、トワ。私が名づけた。母の名前、「時依」の「と」、そして自分の名前、「和音」の「わ」。ふたつの①□文字をくつつけた。

飼っていたのは、一年かそこいら。そのあいだ、一度も鳴き声を発しなかった。ずいぶんかわいがって、一生けんめい世話もした。鳴いてごらん、と呼びかけもした。

さあ、トワ、鳴いてごらん、何も気にしなくていいから。もしも鳴いてくれたら、ナタネをいっぱいあげるから。そう囁きながら、ほんとうは、鳴いたらどうしよう、と戸惑う心もあった。鳴いたらすぐに、お父さんがどこかへ連れていっちゃうかもしれない。かこの戸を開けて、こっそりと逃がしちゃうかもしれない。だから、この子がうちにずっといてもらうためには、きつと鳴かないほうがいいんだ。

そんな私の気持ちが伝わったのか、トワはいつまでたっても鳴かなかった。

友だちのみかちゃんちで飼っていたカナリアが卵を産み、三羽のヒナが孵った。そのうちの1羽がトワだった。

持つてくるな、と父は本気で怒った。

②ただでさえおれは音まみれなんだぞ。うちに帰ってまで余計な音は耳に入れたくないんだ。

鳴かないもん、と私は意地になって返した。

みかちゃんちのカナリアは鳴かないもん。その子供だから、きつと鳴かないよ。

あの子の父の、苦笑い。

おかしいなことを言うんだな、和音は。

鳴かないカナリアなんか飼ってどうするんだ？ 鳴らない楽器をせつせと手入れして、毎日眺めて暮らすようなもんじゃないか。

私はいっぱい、泣いた。

小鳥を飼うな、と言われたことが悲しかったんじゃない。父に、③あんなふうに言われたことがくやしかったのだ。

あるとき私は、九歳だったか十歳だったか。それでも、自分の中の何か大切なものを、自尊心とでも呼べるようなものを、「A」という感

覚がaわかった。

やたら才能があつて、やたら自信に満ちあふれた人。近くていちばん遠い人。それが私の父。

その父に、私の中でいつのまにかb芽生え、こっそりと息づき始めていた、小さく輝く何かをたやすくぺしゅんこにされてしまったのだ。

私は息も絶え絶えになるほど泣き、発熱した。母が、c手を握ってくれていたことを覚えている。私は母の手が大好きだった。あたたかな優しい手、たおやかな、静かな手。

お母さんの手はねえ、音楽家としては、役に立たない手だったのよ。だから、あきらめてしまったの——大好きだったBを。

和音の手は、うつくしい音を奏でる手。そういうかたちをしてるのよ。指はすらつと長いでしょ。指と指のあいだは、ほらね、こんなにやわらかく開くし。力もある。速度もある。だから、あきらめないで奏でてごらん。

私の手を握って、あんなに母が言ってくれたのに。私は結局、あきらめてしまったのだ——Bを。

そのくせ、小鳥一羽をあきらめきれず、泣いて、熱を出して、うんうんうなっていた。母の静かな手、どこか寂しげな指が、暗い部屋の中でいつまでも私の手を握っていた。まるで傷ついた小鳥を手のぬくもりで癒そうとでもするように。

熱が下がって目覚めた朝、ベッドから起き上がった私が最初に目にしたのは、銀色の鳥かご。その中の止まり木に、dとまった深緑色の小鳥。

そのときは何が起こったのかわからなかった。けれど、小鳥が欲しい、という一途な思いを神さまが聞き届けてくれたんじゃないのかな？ などと、都合のいいことを考えた。実際は、母が、どうにか父を説得して、みかちゃんちへカナリアをもらいにくれてくれたのだ。

カナリアは、父が心配したようには鳴かなかった。それでも父はずっと不機嫌だった。カナリアがうちへ来てしまったことよりも、母と私が一緒になって自分の言うことを無視したのが気に入らなかつたんだろう。

トワって名前にしたんだよ。

小鳥が来た翌日、うれしさを隠しきれずに、声を弾ませて私は母に言った。母と私の①□文字を合わせた、なんて、照れくさくて言えなかつたけれど。

トワ？ すてきな名前だね。

母が返す。

フランス語で「あなた」って意味よ。

フランス語？ へえ、ほんとに？

ふふふ、と母がくすぐったく笑う。

和音にはまだちよつと難しいかもね。ああ、でも、日本語にもそういう言葉があるよ。永遠っていう意味の言葉。

永遠？

そう、永遠。

母は、私の自由ノートに「永遠」のふた文字を書いてくれた。私はそのふた文字を穴が開くほどみつめた。それから母に、どういう意味？ と訊いた。

母は、少し寂しそうな微笑みを浮かべて答えた。

絶対に誰にもみつけれないものよ。

永遠、という名の鳴かないカナリア。

ある日、どこかへ逃げてしまった。

不思議なことにその前後の記憶がない。きっと、すごく泣いたと思う。必死にさがしたと思う。ひとつだけ覚えているのは、ものすごく怒ったことだ。

お父さんだ。お父さんがトワをどっかに逃がしたんだ。

お父さんはトワが嫌いだから、トワがいないほうがいいから、どっかにやっちゃったんだ。

お父さんは、トワが……和音のことが、嫌いだから。

そんなことない、そんなことないよ和音。お父さんが④そんなことするはずない。

母は私の体を抱き寄せて、一生けんめい言い聞かせた。

お父さんは和音のことが好きなの。大好きなの。でも、Cだから、大好きだ、って言えないだけなのよ。

ほんとは、トワにだって鳴いてほしかったの。カナリアなんだから、思いつきり鳴いてほしかったのよ。鳴かないから、悲しんでいたのよ。

和音。お願いだから、お父さんを怒らないで。

お願いだから、お父さんを好きでいて。

あのと、母が抱きしめていたのは、母自身だったのかもしれない。

お父さんを怒らないで、お父さんを好きでいて、と、自分自身に言い聞かせて。

いまにも離れていってしまいそうな心を、色あせた赤い糸でどうにかくくりつけて。

けれども結局、母はひとり、遠く離れていった。父のもとに私を残して。

いったいどんな理由でそうなったのか、もちろん、そのときの私が知るはずもなかった。

おんなじだ、と思った。⑤お母さんもトワとおんなじ。鳴かないカナリアになって、お父さんに嫌われて、苦しくって、逃げていったんだ。

母が出ていった部屋にぼつんと残されていたのは、古い古いチェロ。

まるで、私みたい。立ち上がりもせず、声も出せず、ごろりと部屋の片隅に体を放り出して。

その日から、私は学校へ行かなくなった。どこからか雇われてきた家政婦のおばさんが、私を「お嬢ちゃま」と呼んだ。身の周りを片づけ、ご飯を作り、学校へ毎日連絡をした。長いこと父の顔を見なかった。どうせまた演奏旅行に出かけてしまっているのだ。お母さんがいようがいまいが、娘が学校に行こうが行くまいが——あの人には関係ないんだ。

一か月くらい登校拒否をした。みかちゃんが、新しく生まれたカナリアのヒナを持ってきてくれた。

ねえ和音ちゃん。 D。それでさ、元気を出して学校においでよ。ね？

ようやく私は学校に行くようになった。みかちゃんの気持ちがあれしかったから。だけど、新しいカナリアはもうもらわなかった。わかっていたのだ。母が去って、父と私をつなぐものはもう何ひとつない。

カナリアを飼ったところで、それが私たちをつなぎとめるものになるわけではない。

父と、母と、私と。あんなに近くにいながら、それぞれにどうしようもなく孤独だった。それは真冬の北風にも似て、

Eだ

った。か弱い家族、私たち三人をつないでくれる何かを、私はいつも求めていたのだ。

ひよつとすると、あの小鳥が——トワが、私たちをつないでくれるかもしれない。幼い私は心のどこかでそう願っていたのだ。けれど、トワは行ってしまった。永遠に。母も。

⑥ 永遠、のふた文字の意味を、そのとき私はようやく知った。

(原田マハ『永遠をさがしに』河出書房新社)

問一 —— 部①について、本文中の□に共通してあてはまる、体の一部を表す漢字として最も適当なものを答えなさい。

問二 —— 部②について、「ただでさえおれは音まみれなんだ」とありますが、父親の職業は何だと考えられますか。本文中のことばを用いて三字で答えなさい。

問三 —— 部③について、「あんなふうに言われたことがくやしかったのだ」とありますが、和音はどのようなことに対してくやしいと感じたのですか。その内容を三十字以内で説明しなさい。

問四 本文中の **A** にあてはまることばとして最も適当なものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 踏みつくされた
- イ 踏みにじられた
- ウ 踏みしめられた
- エ 踏み抜かれた

問五 本文中の **a** **く** **d** にあてはまることばとして最も適当なものを、次のア～エの中からそれぞれ一つずつ選び、

記号で答えなさい。

- ア ありありと
- イ ずつと
- ウ ちよこんと
- エ ゆっくりと

問六 本文中の **B** にあてはまることばを、本文中から五字以内でぬき出しなさい。

問七 —部④について、「そんなこと」にあたることから、十字以内で答えなさい。

問八 本文中の **C** にあてはまることばとして最も適当なものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 意地っ張り
- イ うそつき
- ウ けちんぼう
- エ 心配性

問九 —部⑤について、「お母さんもトワとおんなじ。鳴かないカナリアになって、お父さんに嫌われて、苦しくって、逃げていったんだ」とありますが、なぜお母さんは鳴かないカナリアのですか。二十字以内で答えなさい。

問十 本文中の **D** にあてはまるセリフとして最も適当なものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア この子は飛べないからさ、今度は絶対に逃げないよ

イ とつても明るい色だからさ、前の子より気に入るよ

ウ カナリヤが来ればさ、きつとお母さんも帰ってくるよ

エ きつとこの子は鳴くからさ、また飼ってあげてよ

問十一 本文中の **E** にあてはまることばとして最も適当なものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 目には見えるけれど感じとれないもの

イ 気配もなくいつのまにか近づくもの

ウ 目に見えなくても全身で感じるもの

エ 目に見えず気配も感じられないもの

問十二 —部⑥について、「永遠、のふた文字の意味を、そのとき私はようやく知った」とありますが、私がこのとき知った永遠の意味としてふさわしくないものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア トワが見つかる可能性がないこと

イ 母が家に戻る日は来ないこと

ウ 家族がそろう日は二度とないこと

エ 自分は音楽家の手になれないこと

大問二、次の各設問に答えなさい。

A 漢字の問題

問一 次の——部のカタカナを漢字に、漢字をひらがなにそれぞれ直しなさい。

- (1) 今こそリーダーとしてのシンカを君に問うときだ。
- (2) 政治を変えようとする新しいセイリヨクが現れた。
- (3) 条件が厳しすぎて選んでいるヨチがないよ。
- (4) 会議が終了しましたら速やかにご退出ください。
- (5) 目の前の店が名物菓子の元祖だそうです。

問二 次の——部に用いる漢字と同じ漢字を用いる言葉をふくむ文を一つ選びなさい。

- (1) 自分の住む街にも世界遺産に登録された建物がある。
ア ユイシヨ正しい家柄に育つ イ 現代に残るユイイツの絵画 ウ 祖父のユイゴン状を受け取る
- (2) 一夜にしてキョマンの富を築くなんてまるで夢物語だ。
ア 地震に強いジバンだ イ 来客の準備はバンゼンです ウ 俳優が舞台をコウバンした
- (3) ゼッターゼツメイのピンチを救う。
ア セケンテイを気にする イ 台形のテイヘンの長さ ウ 大会のキテイ通りに行動する
- (4) 若手のイクセイに力を入れていきます。
ア コンジョウを見せる場面だ イ 願いのジョウジュを神に祈る ウ ジョウカン豊かなメロディー
- (5) 台風で飛行機の帰りのピンが欠航になった。
ア リベン性に優れた新製品 イ 代議士のトウベンを聞く ウ ベンガクに励む姿が頼もしい

